

平成29年度 第1回大崎上島町総合教育会議 議事録

1 日時 平成29年7月28日（金）午後1時00分～午後1時40分

2 場所 大崎支所302会議室

3 出席者 （構成員）

大崎上島町長 高田 幸典

大崎上島町教育委員会

教育長 出口 一伸

教育長職務代理者 北山 博子

委員 幸家 大

委員 藤原 龍秀

委員 岡本 康史

（構成員以外）

大崎上島町教育委員会

教育課長 石田 修次

事務局職員 2名

4 欠席者 （構成員）

なし

5 傍聴人 なし

6 会議内容

午後1時00分開会

（開会）

教育課長

ただいまから、平成29年度第1回大崎上島町総合教育会議を開会いたします。出席されております構成員は5名でございます。本日の日程は配付しておりますとおりです。資料につきましては、次第、出席予定者名簿、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、大崎上島町総合教育会議設置運営要綱、平成27年度から平成31年度大崎上島町教育大綱、平成29年度中学校1学年～3学年の広島県児童生徒の体力・運動能力調査結果となります。本日の会議は、構成員と教育委員会事務局より3名出席しております。大崎上島町総合教育会議開会にあたり町長からあいさつをお願いいたします。

(町長あいさつ)

高田町長

第1回大崎上島町総合教育会議への出席、ご苦労さまです。平素は義務教育を中心として町の教育推進にご尽力いただきまして感謝を申し上げます。ご存知のとおり、教育の町として取組を推進しております。教育委員会でもしっかりと役割を担っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

教育課長

ありがとうございました。これより議事進行は、高田町長にお願いします。

高田町長

議事に入ります。この度の協議は、中学校の体力向上と就学前教育の充実についてです。

現在、広島県社会教育審議会の委員をおおせつかっております。そこで資料を見たときに本町の子どもたちのデータが小学校男子6学年のうち5学年は県平均を上回っており、女子は6学年全て県平均を上回っております。しかし、中学校では、男女1学年のみが県平均を上回っていることがわかります。3分の2は下回っています。2年前に見たときも小学校では高く、中学校は低かったので何か課題があるのではと思い、この度の議題に出ささせていただきました。しかし、同じ生徒ではなく、平成28年度の調査の比較になります。今の中学生の生徒が小学生の時の資料をだしていただくよう事務局にお願いをしました。

教育課長

資料8頁になります。平成29年度中学校1学年が小学校6学年時の結果と県平均、対広島県について、中学校2学年が小学校6学年の時の結果と中学校1学年の結果を県平均と対広島県について、現在中学校3学年が小学校6学年の結果と中学校1学年、2学年の結果と県平均と対広島県の資料をまとめております。三角は、県平均を下回っていることになります。

高田町長

この資料を見ますと、小学校では、広島県平均を上回っていても中学校では三角が増え、ほとんどが下回っていることがわかり、課題があるのかと思います。それとシャトルランと持久走はどちらかをやればよいということですが、殆どが両方しているようです。本町でも、両方をやって比較ができればいいと思います。中学校では、6つの自治体が選択制をしており、他は両方行っているようです。

北山委員

小学校では、シャトルランをやり、中学校は持久走をやっているということですか。

教育課長

資料9頁からですが、小学校6学年はシャトルランを行い、持久走は行わず、中学校では、シャトルランと持久走の両方を行っているところが多くあります。

出口教育長

小学校につきましては、3年前にスポーツ振興課から、指導主事に来てもらい、体力テストの在り方について、担当教員に指導をいただき、学校に帰り全教員が共有をしました。小学校は3校が集まって行うため、記録が伸びるような指導や測り方を毎年行っており、伸びてきたということがあります。各小学校で劣っているボール投げは、独自で壁に票をつけて休憩時間にやるという工夫をし、伸びてきたということがあります。中学校は授業の中で行い、生徒が測り、生徒が集中してやっているかどうかは課題だと思います。今年については、学校長と連携し、そういったことがありえるなら、改善をするようお願いをしました。シャトルランは、リズムにあわせて行うので、小学校は全体で、できると思いますが、中学校は、授業で行うので、難しい面があるのかと思います。なぜ両方やらないのかは、確認はしていません。中学校は授業でやるので、教員は一人で、計測は生徒がやりますので、そのあたりが結果に出ているかと思われれます。全体で、できればいいのですが。

高田町長

例えばボール投げは、やる機会が少ない子どもはいると思います。日頃からやると要領が分かりますが、立ち幅跳びもそうだと思いますが、いきなりその日やると、コツが分からないので、結果が悪くなると思います。今回のように結果を見ますと大崎上島町の中学生は体力がないと思われれます。

北山委員

測定の仕方もあると思います。少し鍛えてやるのと、やらずに授業でやるのでは、違うと思います。小学校では、握力等個人で測るものは、クラスでやりますが、あとは全校でやっています。

高田町長

他の中学校はどういった形で行っているか、大崎上島中学校とは違うのかよくわかりませんが、このような結果がでると、大崎上島中学校の体力は落ちて、鍛えてないのかと見られます。

出口教育長

学年が上がるにつれて、結果が悪くなっています。真剣に取り組んでいるのかが問われます。

高田町長

そこは、先生方に指導をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

高田町長

次の就学前教育の充実について協議に入ります。

就学前教育について、重要であるということをご理解いただいておりますが、幼児期に育てなくてはならないことを充実させるということで今回議題にさせていただきました。

出口教育長

今年度、広島県でも義務教育指導課に幼児教育担当を設置し、就学前教育の重要性について推進プランに示されております。その中には、将来に渡る人格形成の基礎を培う教育の場であり、幼稚園を卒園した後の、小学校、中学校を意義あるものにしていくための集団性の中で必要な能力を養う場であると捉えるとあります。この度、県教委の幼児教育事業でコーディネーターがこられました。大崎上島学の中で就学前教育を重要なものとして捉え、5つの力、交流体験を見ていただき、説明をした中での評価は、県よりも進んだところでやっけていただいているので、これをもっと発展させてくださいということでした。本町は、幼稚園から中学校まで系統性を持ってやっています。今のまましっかりと進めていけばいいということでした。

北山委員

本町の場合は、公立幼稚園は研究を頑張ってやられております。5つの力の中の気づき、考え、やってみるということを木江幼稚園は取組を行っています。公立幼稚園では、研究会をして頑張っていますが、横の連携がとれないのはどうしたらいいのかと感じています。町の体制としては、まだまだ課題があると思います。

出口教育長

町全体でいえば公立は連携できています。公立と私立の連携は、第1回の園長会を開催し、今後の在り方について協議を行っております。

高田町長

内容はどうでしたか。

出口教育長

公立と教育内容を同じように進めていくことは考えていないということでした。しかし、このように園長が、集まった交流会は必要であろうということでした。横の連携については、教育内容よりもお互いの教育の進め方を承知する会議になると思います。

高田町長

例えば、公開研究会に私立も来ていただき、お互いが交流する機会があればいいと思います。

出口教育長

お互いの行事等の案内をして、参加していきましようという話にはなったようです。

北山委員

幼小の連携、横の連携をしながら、町の子どもたちを育てるという意識でいかないと、それぞれが平行線では、子どもが困ると思います。

高田町長

私立は主任等が研究会や行事等に参加いただけたらいいと思います。

出口教育長

交流の在り方を今後も考えていくと了解しています。

北山委員

それぞれに、連携コーディネーターをおいて、話し合えればいいと思います。

高田町長

それができればいいと思います。幼稚園になったばかりで、歴史が浅いので、相手の思いも配慮しながら、進めていく必要があると思います。私立が、公立と同じように研修を深めるということであれば費用等を補助することも検討できると思います。

北山委員

園長同士の交流よりも教諭の交流を深めてほしいと思います。

高田町長

まずは、園長同士が理解をしないと、教諭同士は難しいです。まだ、最初の段階です。

県教委が取り組んできたということも、情報が入ってきております。引き続き、就学前教育に取り組んでいただきたいと思います。

高田町長

次にいじめで、自殺が増えているということですが、本町の状況はどうですか。

出口教育長

いじめはあります。

重大事案については、生じていませんが、いじめについては、必ず把握をしてあった場合は、子どもと家庭と連携をしております。

高田町長

大崎上島文化センター楽屋で相談を行っておりますが、相談者はありますか。

出口教育長

日誌を提出していただいておりますが、ほとんどありませんでした。いじめ問題調査委員会を本日開催しますが、2年間で委員会を開催する事案はありませんでした。

高田町長

無いに超したことはありません。

高田町長

幼稚園で英語活動を行っていますが、子どもたちは楽しんでいるでしょうね。

出口教育長

楽しんでやっています。

高田町長

状況が想像できます。小学校も楽しくできていると思われれます。中学校へ行くと文法が出てきますので関心が薄れる傾向にあります。

出口教育長

保護者から、続けてほしいというお話を聞いております。ALTを3名配置していただきましたので、昨年よりは時間数が増えます。英語活動推進協議会を設置し、小学校は、同じものを使って授業をすることにしています。中学校は、1時間はオールイングリッシュでALTを活用することにしています。新学習指導要領の実施にあたって、それまでにスムーズに移行できるようにしていこうと思っております。

今、お配りしたのが、小中学校のいじめの発生状況です。

高田町長

木江、東野は小規模校なので目が行き届くので、少ないですね。

北山委員

木江小学校の場合は、毎日あったことをださせて、即対応ということをして続けていると思います。アンケートを毎学期していますが、ずっといやな思いが心に残っていると大きくなって出てくるので、早く対応することが大事だと思います。

出口教育長

事案の中で、集団で無視される、仲間はずれにされるなどのいじめということは1件あります。その他、冷やかしからい、悪口、いやなことを言われた等もいじめとして捉えています。

高田町長

他に教育委員会では課題等ありますか。

藤原委員

特にありません。

高田町長

全体的にうまくいっているのだと思います。このまま進めていただけたらと思います。

高田町長

以上で本日の協議は全て終了しました。

これもちまして第1回総合教育会議を閉会といたします。

午後1時40分閉会